

## 編集後記

2011年に創立30周年を迎え、記念誌の発行は1年遅れとなってしまいましたが、会員皆様のご協力によりようやく完成することができました。私にとって10周年記念誌、20周年記念誌とこのたびの30周年記念誌の3度に亘る編集の機会を得たことは大変光栄です。記念誌編集に際し、原稿集めから製本印刷に至る過程を思うと、私たちの身近にある通信機器、パソコン、コピー機、デジタルカメラ等の電子機器の進歩には驚くばかりです。

10周年記念誌の編纂は平成2年でしたが、当時の千葉県機械金属試験場ではFAXとNEC98パソコンを導入したばかりでした。当時の行事写真はモノクロかカラーフィルム撮影で、一開催当たり36枚撮りフィルムは2本程度の使用でした。10周年記念誌の原稿出しは写真貼り付けもすべて自分たちで行い、表紙の装丁と印刷製本だけを印刷屋さんに依頼して経費の節約をしました。今回は10周年記念誌もカラー写真に入れ替え、復刻版としてホームページに掲載いたします。

20周年記念誌は平成13年の編集でした。このときは川崎製鉄(株)技術研究所(現JFEテクノリサーチ(株))の高田さんに大活躍をして戴きました。記念誌の写真は高田さんがスキャナーで電子ファイル化して戴き、印刷屋さんに渡す原稿も電子ファイルでした。それでもカラー写真は、予算的には2ページがやっとでした。この20周年記念誌のカラー版はホームページでご覧戴けます。

今回の30周年記念誌は20周年記念誌の続編という形で編纂させて戴き、第四部には「年表」スタイルで千葉県非破壊検査研究会、(一社)日本非破壊検査協会とNDT業界の主な出来事、世の動きの3項目でまとめてみました。

各部の口絵写真は、最近話題となった構造物や建造物の写真を掲載しました。川向こう(江戸川)の土手からのスカイツリータワーと富士山の雪は、この時期としては天候に恵まれました。

30周年記念誌は研究会ホームページを活用したWeb版の記念誌としました。皆様のパソコンでダウンロードし、印刷・製本して戴くことも可能です。

記念誌編纂に際し、事務局で保管している30年分の数千枚の写真に目を通しました。既にお亡くなりされた方々の研究発表や懇親会での談笑の写真を拝見し、懐かしさを感じると共に目を閉じて黙祷を捧げさせて戴きました。特に、故丹羽登会長には長きに亘り、研究会に対して深い愛情とご指導を戴きました。先生のCNDIでの足跡を偲ぶため、ホームページに追悼のコーナーを掲載させて戴きました。

(30周年記念誌編集幹事 立川克美)

## 千葉県非破壊検査研究会 30周年記念誌

平成24年11月吉日発行

編集 千葉県非破壊検査研究会

編集委員 白井越朗, 岸上守孝, 藤盛紀明, 立川克美, 守井隆史, 細谷昌裕

発行 千葉県非破壊検査研究会事務局

〒263-0016 千葉市稲毛区天台6-13-1 千葉県産業支援技術研究所内

TEL043-252-2106 FAX043-254-6555